

## 刊行に あたって

これから、日本が迎えるであろう超高齢社会における歯科医療は、いまだかつて誰も経験したことがありません。さらには、社会の変化に伴い、歯科医療にはより機能的で質の高い治療結果が求められるようになるでしょう。

このような社会のニーズに応える治療の選択肢の一つとして、インプラント治療は爆発的ともいえる普及を遂げてきました。

しかしその一方で、臨床の現場では、明確なコンセンサスが得られていない臨床術式が応用され、残念な結果も散見されるようになりました。

このような状況下で、第一線で臨床に携わる歯科衛生士のなかには、インプラント治療に戸惑いを感じている人も少なくないのではないのでしょうか。

著者らは、偶然にも早い時期からインプラント治療に携わる機会に恵まれました。そして、四半世紀の間インプラント臨床に従事し、多くの経験を積んできました。

本書では、その経験から学んだインプラント治療で大切なことを、エビデンスをもとに検証しました。「臨床現場のみなさんが、何らかの疑問を感じたときに、その答えを見つげられる本を作りたい」。そのような気持ちから、Q&A形式で一冊にまとめました。

歯科臨床をがんばる仲間として、この本が少しでも多くの方々のお役に立てれば幸いです。

2015年1月

東京ステーション歯科クリニック

歯科衛生士 **岩井理子**

歯科医師 **小川洋一**